

7.26施設障害者虐殺 6年目の追悼アクション

2016年7月26日、神奈川県相模原市にある障害者施設で19名もの人々の命が奪われた事件から、今年で6年が経ちます。

この事件は障害という属性を理由として、人の生命と尊厳を否定し暴力に及んだ、紛れもないヘイトクライムです。現在も事件で殺された障害者の名前は数名しか公表されず、被害者の尊厳は未だに踏みにじられたままです。しかし、その一方で実行犯の存在ばかりが大きく扱われ、その思想に共感・同意する人々が一定数存在し、それは少なくない状況です。

ヘイトクライムを許さないとはっきり明言できる日本社会であれば、相模原で19名の障害者は殺されなかったのではないのでしょうか。ヘイトクライムを許容している社会だから、19名は殺され、実行犯の思想を垂れ流し、差別的な考えに共鳴する人を作り出すような連鎖がおこってしまっています。

私たちはこのヘイトクライムを許容する日本社会に対して、より広いつながりを持って抗い、改めてヘイトクライムとは何か、ヘイトクライムを糾すためにはどうすればよいかを共に考え、行動したいと思います。

もうすぐ6回目の7月26日がやってきます。私たちは7月26日を「祈念日」と位置づけ、19名の命が奪われることなく、生きていくことができた社会、差別やヘイトクライムを許容しない社会を目指して、事件を決して許さず、忘れないために声をあげ続けます。この世界にあった19名の人生に想いをはせ、追悼を共にし、そして誰の命も大切にされる社会を再建していくことを目標に、今年も追悼アクションを行います。

皆さまにおかれましては、お忙しい時期だと思いますが、ぜひご参加いただけるようお願い申し上げます。

2022.7.26
18:30~
ヨドバシ梅田近辺にて

※献花台を用意しますので、よろしければお花をご持参ください。

※ブラカードやフェイクキャンドル、黒リボンを用意していますが、お持ちの方もぜひご持参願います。

《必ずご確認ください》

- ・参加の際は必ずマスクを着用してください。
- ・コロナウイルス感染予防の観点から約2m程度間隔をあけてのスタンディングにご協力ください。
- ・暑さや急な雨が予想されます。水分補給や雨具の用意をお願いいたします。